

PRESS RELEASE

報道関係者各位

内閣府主催「地方創生☆政策アイデアコンテスト2023」で法学部の学生2名が「東北経済産業局長賞」を受賞

桐蔭横浜大学法学部4年の学生2名が、内閣府主催の「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2023」で、東北ブロックの優秀賞である「東北経済産業局長賞」を受賞しました。

「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2023」は、地域経済分析システム（RESAS）等を活用した、地域課題の分析を踏まえた地域を元気にする政策アイデアを募集するコンテストです。

見事受賞した2名は、ゼミの先生にコンテストを紹介され参加を決意した際、「参加するからには絶対に賞をとる！」と心に決め、約10カ月に渡り課題に取り組みました。

テーマとして選択したのは、山形県酒田市。酒田市の観光に関する課題を分析し、特に交通手段に着目して研究を進めました。ゼミの先生のサポートのもと現地視察も行い、法学部ならではの視点から、「法律に抵触しない」政策アイデアを提案しました。

最終審査には届かなかったものの、見事、東北ブロックの優秀賞を受賞した2人ですが、就職活動と並行しながらの挑戦はとても厳しく、時にはぶつかり合うこともあったと言います。もう諦めてしまおうかと思ったことも幾度となくあったとのことですが、最後までやり抜いた結果、学生自身、大きな成長を感じていました。



◆受賞した学生のコメント「今回の経験で、自身が成長したと思うことは？」

「就職活動や行政書士試験の勉強と並行しながらの挑戦は想像以上に過酷でした。限られた時間でやるべきことを全てこなさなければいけない状況に置かれ、時間管理の能力、優先順位をつけて行動する能力が身に付いたと感じます。今後社会に出て、就職先でもマルチタスクに対応する力が求められると思うので、今回得た力は必ず役立つと。」

「最初はなかなか政策案が思いつかず、食事や休憩の際も常に思考を巡らせていましたが、それでも良いアイデアは生まれませんでした。そこで思い切って心の切り替えをしてみたところ、ふとした時にアイデアが生まれるようになりました。切羽詰まったときだからこそ、心の切り替えは重要だと学びました。社会に出てからも様々な状況を経験すると思いますが、メリハリをつけて乗り越えていきたいです。」

◆「地方創生☆政策アイデアコンテスト」詳細

地域経済分析システム（RESAS）等を活用した、地域課題の分析を踏まえた地域を元気にする政策アイデアを募集するコンテスト。地方創生やデータ利活用に関心を持つ地方公共団体職員、民間団体の方や学生など、誰でも応募が可能。大学生は「大学生以上一般の部」で応募し、研究対象とした県単位の一次審査、全国を9ブロックに分けた二次審査を経て、各ブロック1チームのみが最終審査へ進む。最終審査会では、応募者が審査員に対して直接プレゼンテーションを行う。

公式 HP : <https://contest.resas-portal.go.jp/2023/>

お問い合わせ先

桐蔭横浜大学

【代表者】学長 森 朋子

【所在地】神奈川県横浜市青葉区鉄町 1614 番地

【事業内容】4年制大学教育機関

【公式サイト】<https://toin.ac.jp/univ/>

【本件に関するお問合せ】担当：大矢、工藤

TEL: 045-972-5881 Email: u-koho@toin.ac.jp